

77 ヒメウ

(カツオドリ目)

Urile pelagicus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク: EN

種の概要

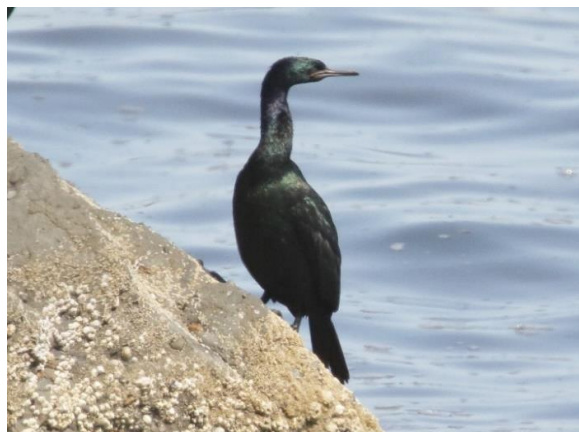
シベリア北東部から千島列島、サハリン、日本、オホーツク海、ベーリング海、アラスカ、カリフォルニアまでの北極から亜熱帯の北太平洋沿岸で繁殖し、繁殖後は温帯の海域に渡り、越冬する。日本では北海道、本州北部などの離島などで繁殖し、北海道、本州、四国、九州などの近海で越冬する。海上や岩礁、沿岸に生息し、潜水して主に魚類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、モユルリ島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖

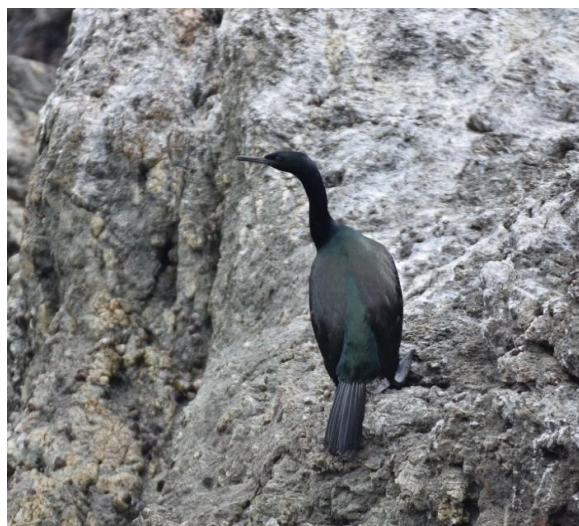
県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★洲本市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、★南あわじ市、★淡路市、香美町、新温泉町



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局地的 繁殖	希 少
						○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌5月に生息する。かつては数羽から50羽前後の群れが普通に記録されていた。近年は単独か数羽の記録がほとんどであるが、淡路島南端の沼島ではウミウとともに集団越冬する大きな群れが見られる。重油や化学物質の流出による被害で、海上や沿岸の群れが大きな打撃を受けることがある。

保護上の留意点

本種の生息環境である海岸の保全が必要。特に重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。